

# 令和7年度 第4回施設長会 資料9

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

## — 議 題 —

- 1 各プロジェクト委員会の進捗状況等について …資料1
  - (1) 災害プロジェクト委員会について
  - (2) 人材プロジェクト委員会について
  
- 2 施設長会情報交換会テーマについて …資料2
  
- 3 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業を活用した動画研修 …資料3
  
- 4 ふくしの出張講座実施状況について …資料4
  
- 5 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会について …資料5
  
- 6 その他
  - (1) コロナワクチンについて …資料6
  - (2) 川崎市福祉人材バンクより …資料7
  - (3) 川崎市総合研修センターより …資料8

## 各プロジェクト委員会の進捗状況について

## 1. 災害プロジェクト委員会

第3回災害プロジェクト委員会 / 9月4日(木) 14時~15時

※第3回防災班長会議と合同開催

〈協議概要〉

## (1) 令和7年度川崎市総合防災訓練(8/31)の振り返り

訓練概要: 訓練は8月31日(日) 9時から12時まで、川崎総合科学高等学校と玉川緑地を使用して実施。施設では、二次避難所の立ち上げと要援護者の受け入れ訓練が実施。

時間と会場: 9時から10時半頃まで、会場は特別養護老人ホームみんなと暮らす町。

- 二次避難所開設と要援護者受け入れの流れ:
  - 9:25: E-Welfiss で二次避難所開設準備完了を発信。
  - 9:30: 福祉調整本部(高齢分野) から E-Welfiss で二次避難所開設要請が届く。  
会議スペースを受け入れスペースとし、介護ベッド2台とパーテーションを設置。
  - 10:15: 民間移送車で要援護者と介助者が到着。要援護者はストレッチャーに乗せられたまま受け入れスペースへ。  
移送隊員が介護ベッドへの移乗を実施。
  - 10:20: 施設看護師が要援護者の状態についてご本人と介助者から聞き取り。
- 幸班の物資移送訓練:
  - 8:40: E-Welfiss でみんなと暮らす町から物資支援の要請を発信(LINE等も使用)。
  - 9時過ぎ頃: 各施設から物資が移送。
- ◎工夫点: 施設名と運んできた物を記載できるラベルを作成し、箱に貼ることで、何がどこからどれくらい来たのか一目でわかるようにした。

## ◎幸班・亀川委員からの報告と課題点:

物資輸送訓練の課題:

- ・どの施設がどの物資を運ぶかという調整作業が必要(物資が重複したため)。
- ・E-Welfiss 操作の課題(致命的な初歩的課題): みんなと暮らす町の事務室でパソコンを借りて E-Welfiss を操作しようとした際、URL がわからず、探すのに10分以上かかり、まずそこでつまずいた。普段、自施設ではお気に入り登録しているため、他の人のパソコンだとアドレス入力が必要になる。
- ・避難者受け入れの課題: 要援護者が大柄な方だった場合、段ボールベッドでは持たない可能性があるため、しっかりした介護ベッドの必要性を確認。
- ・情報連携の課題: 一時避難所から要援護者の状態が書かれた書類(健康状態、介護度など)が事前に届かないと、受け入れ可否の判断ができず、受け入れ後に「うちでは無理」となる可能性がある。そうすると別の場所へ移送し直す事態になりかねない。事前の情報共有の仕

組みが求められる。

- ・訓練の総括：訓練を通じて、問題点を確認できたほか、スペースや体制のイメージができたという効果があった。

◎参加委員からの感想・意見：

- ・初めて参加し、要介護3の方が運ばれてくる想定で介護用ベッドを利用したことは良い案だと思う。付き添い者用のベッドも近くに必要だと感じ、自施設に置き換えて、受け入れスペースの再検討やパーティション、ベッド（段ボールで大丈夫か）の確認が必要だと感じた。
- ・一昨年の訓練時と異なり、今回はベッドを準備したことが、施設ごとの特性に応じた一つの方法として再認識できた。
- ・みんなと暮らす町の訓練は充実していた。段ボールベッドではなく通常のベッドを利用するという点が参考になった。
- ・要介護者には介護ベッドが良いという対応は当然のことだと気づかされた。たまたま会議室スペースに広さがあり、介護ベッドを2台置くことが活かせたが、なければ大変。付き添い者には段ボールベッドやキャンプ用ベッド等の活用が考えられる。
- ・理想的な二次避難所の設営・受け入れを確認できた。自施設はスペースや物品が限られ、介護用ベッドは使えない可能性が高いので、限られた資源・人員でのミニマムな訓練も必要だと感じた。
- ・要援助者への対応として、空いているベッドを持ってきて設置した方が良いという点に気づけた。二次避難所の受け入れを発信する行政が各特養のスペースやベッドの有無を把握してもらえると良い。
- ・要介護者への対応として、自施設で介護用ベッドを用意できるような工夫の余地がないかと、改善の余地を感じた。

◎その他課題・気づき：

- ・情報ツール：E-Welfiss が本番用と訓練用の二つあり、情報を二つ見なければならなかったため、一つに集約する決め事が必要。
- ・E-Welfiss の操作性：参加者からも、当日スマホでパスワードがわからず見られなかったという声があった。
- ・本人情報の聞き取り：落ち着いてヒアリングできていたが、実際はもっとゆっくり聞けないかもしれない。川崎市との調整や受け入れ後の手順は、一昨年の訓練とほぼ同様で理解を深めることができた。
- ・職員体制と啓発：災害時、施設職員も被災者になるため、段ボールベッドを組み立てられる職員がどれだけいるかなど、職員への啓発活動が必要。
- ・二次避難所での配慮：ショートステイのスペースを空けておき、認知症など症状が強く出た要配慮者に対し、避難者全体に迷惑がかからないよう気持ちの安定を保てる工夫ができるというアイデアを共有できた。発災時は気持ちが落ち込んで亡くなる方もいるため、心理的な配慮も重要。
- ・事前の施設確認：実際に施設を見てもらわないと、どれくらい受け入れられるのか、本当にその人数を受け入れられるかなど、気づけない部分がある。

◎危機管理担当からの意見:

- ・市役所側の動き: 一次避難所から二次避難所への移送など、市役所の動きは概ねうまくいったと感じた。
- ・E-Welfiss の操作性: 職員も日頃使っておらず、異動もあり、日頃から使う必要性を感じた。
- ・二次避難所の本来の目的: 二次避難所に行く方は、もともと在宅で介護ベッドなどを使用していた方で、自宅で使っていたものが使えなくなった場合に、それを補う場所。
- ・受け入れ対象者の整理: 障害や要介護があるからと一律に二次避難所へ行くとキャパオーバーになる。どのような人がどういう施設に行くべきか、平時の状態をどう維持できるかを考える必要がある。
- ・各施設の確認: 施設によって設備や受け入れ可能人数が違うため、各施設を見に行く必要があると考えた。

◎単独型デイサービスへの E-Welfiss アカウント付与について (進捗報告) :

市の見解: 現在、特養など入所施設以外の二次避難所活用(人的な部分も含め)の整理が市としてまだついていない。特養は24時間対応で人がいるため二次避難所として設定。デイサービスなどは、スペースはあっても人がいない可能性があり、その整理ができていない。

今後の対応: デイサービスの二次避難所としての活用方針が固まれば、E-Welfiss も使えるようにしたいとのこと。

## (2) 各班の訓練等取組み状況について

各区班長より報告。

**川崎区:** 8月14日にしおんを被災想定施設として実施。当日、しおんが E-Welfiss が使えず電話で対応するイレギュラーが発生。そうした状況が生じうることも想定できる良い機会となった。区社協や区役所の見守り支援センターも参加。11月26日に区全体の顔合わせをラシクルで実施予定。担当者変更が多いため、Zoomではなく対面で話し合うことの重要性を確認。今後、職員の応援や物資移送の順路などについて話し合う予定。

**幸区:** 前述の二次避難所立ち上げ訓練、要援護者受け入れ訓練で報告済み。

**中原区:** 11月頃に E-Welfiss を活用した情報伝達訓練と物資移送訓練を実施。まだ被災想定施設になっていない桜の丘を候補施設として調整中。

**高津区:** 10月中に物資移送訓練を実施するべく調整中。各施設の立地状況やキャパの関係でなかなか会場となる施設が見つからない状況。前回同様、高津山桜の森に依頼する可能性が高い。

**宮前区:** 9月中に E-Welfiss 訓練を実施する予定。施設長だけでなく、多くの職員に E-Welfiss の使い方を習熟させることが目的。

**多摩区:** 9月中に人的支援(応援職員)の訓練を予定している。

**麻生区:** 10月にまごころタウン\*新百合ヶ丘を被災想定施設として訓練を行う予定。

## (3) 今後の予定

第4回災害プロジェクト委員会・防災班長会議 / 11月4日(火) 14時~

## 2. 人材プロジェクト委員会

### 第3回人材プロジェクト委員会 / 9月17日(水) 15時～

#### 〈協議概要〉

#### (1) 介護施設のしごと入門セミナーについて

- 実施日：8月26日(火) 13:30～14:30
- 会場：ハローワーク川崎北溝の口庁舎4階会議室
- 協力者：岩壁委員長、平山委員、木下委員、(茶園副委員長、実習生)
- 参加者：20名
- プログラム：
  - ①老人福祉施設協議会・人材プロジェクト委員会の活動紹介、市内の特養紹介(担当者)
  - ②介護ケアの実際(平山委員)
  - ③介護職の仕事と利用者の生活【動画付きスライドショー使用】(木下委員)
  - ④質疑応答「介護の仕事ってどんなイメージですか」(岩壁委員長)

#### ◆参加者の反応：

- ・実習生からは「説明が分かりやすく、動画も有効だった。福祉の仕事へのイメージが深まった。」との好意的な意見があった。
- ・対象者の年代は、従来の相談会より若く30代、40代が多かった印象(20代もいた)。
- ・介護の仕事に興味があるはずの参加者の中で、実際に「やってみたい人」は1～2名にとどまった。

#### ◆介護の仕事のイメージと課題：

- ・一般の人にとって、介護の仕事は依然としてハードルが高い。介護補助からの入り方など、入り口を工夫することや、広報活動(発信)を絶えず行うことの重要性を再認識した。
- ・参加者の興味の度合いにばらつきがあり、一方的な説明が多かったため、今後は会話をする形式も検討しても良いかと思った。

#### ◆社会福祉士実習生からの意見：

- ・体力的な負担(腰痛など)や、認知症の方とのコミュニケーションの難しさ等、大変なイメージがある。
- ・マスコミによるマイナスイメージ(3K、低賃金)の影響が大きいように感じる。
- ・中高生年代から介護に対するマイナスイメージがあるように感じる。もっと若年時から広報する必要性を感じる。

◆イメージのギャップ：

- ・実際の施設は ICT 導入等で環境が改善されているが、20年くらい前のイメージのまま認知されている。そのギャップを埋めるための広報活動が重要である。

◆今後の対応：

- ・ハローワークから、セミナー参加者へのアンケート結果等のフィードバックを確認する。
- ・興味を持っている人は引き込みつつ、興味を持っていない層にも関心を持ってもらうためのPR方法を検討する必要がある。

## (2) 地元で活躍する企業との交流会について

主催：かわさき若者サポートステーション／コネクションズかわさき

日時：11月26日（水）14：00～（2時間程度）

内容：50歳未満の求職者が参加。4社の企業ブースを設け、各企業が15分程度説明した後、3～4名の4グループに分かれた求職者が15分単位でブースを回る形式。

◆検討事項

参加形式：原則として人材プロジェクト委員会としての参加を希望。

協力施設：人材プロジェクトとしての参加が可能な場合は、和田委員と福芝委員の2名体制で参加する方向で決定。

施設単体での参加の場合：人材プロジェクトとしての参加が難しい場合は、和田委員に桜寿園として参加してもらう。

アピールポイント：介護の仕事に興味がない人にも関心を持ってもらえるよう、異業種からの転職事例等を紹介すると良い。社会福祉法人の安定性や公的な性格を強調し、民間企業との違いを訴える。川崎市内の平均と比較して給与面で遜色ない（生活できる給与は十分確保されており、一部業界よりは優位性がある）等、福利厚生面での悪くない実態を伝える。

## (3) オンライン施設説明会・見学会について

◆経緯：ハローワーク川崎北から、介護就職デー（11月開催予定）の集客強化のため、事前説明会・見学会の開催を打診された。

◆実施時期：10月中の実施は難しいため、年明け（1月～2月頃）に延期。

◆内容：オンライン上での施設説明会・見学会を検討。リアルタイムで現場の様子をライブ配信することで臨場感を伝える。時間は最大1時間程度。

◆協力体制：人材バンクの山下所長に相談し、人材バンクとの共同事業として進めることに合意。人材バンクから機材（ネット接続可能なiPad）の貸し出しや職員の支援協力を得られる。

◆検討事項：

- ・協力施設の募集：特定の施設に依頼が偏るのを避けるため、まずは10月の施設長会で広くオープンに協力施設を募る。
- ・対象者へのアプローチ：若い世代はオンラインでの見学が有効。セカンドキャリア向けには、実際の施設見学（バスツアーなど）も有効ではないか。

#### (4) 株式会社 No.K コモエスについて

- ◆株式会社コモエスは大阪を拠点とする会社で、現在 TikTok 等 SNS を活用した求人サービスを展開している。
- ◆以前、映像制作に約40万円かかったが、人が採用できるまでずっと掲載してもらおうという条件だった（3人採用まで）。しかし、なかなか成果が出なかったため、新たに、無資格・未経験をターゲットにした非常勤向けの採用サービス「ポコタス」を開始した。
- ◆映像制作費は20万円、採用1人につき1万円としているが、現在は案件を集めたいため、映像制作費については「応相談」と提案されている。
- ◆ポコタスは介護の求人に特化しており、広報活動として、大阪の制作会社と協力し「自分ごと」という映画も制作している。
- ◆市内施設でも、既にインターンシップ用動画を自前で撮影し、そのままこの媒体に掲載している。採用されるまで掲載が続く点が良いとのこと。
- ◆ショート動画が中心で、長い動画を集中して見るができない若年層に向けて、いかに短く、最初の3秒でインパクトを持たせられるかが重要。制作会社なのでそのプロである。
- ◆現在の「映像制作費“応相談”」の提案はキャンペーン的なものであるため、案件終了後は元の金額になるかもしれない。
- ◆人材プロジェクト委員会として、一度、コモエスの担当者と Zoom で説明を受ける機会を設けるのも良いかもしれない。

#### (5) その他

- ・毎回市社協で会議を開催するのではなく、施設見学も兼ねて、どこかの施設で会議を開催するのも良いかもしれない。他施設の様子を見る機会は少ないため、運営等の参考になるのではないか。

#### (6) 今後の予定

第4回人材プロジェクト委員会 / 11月19日（水）15時～

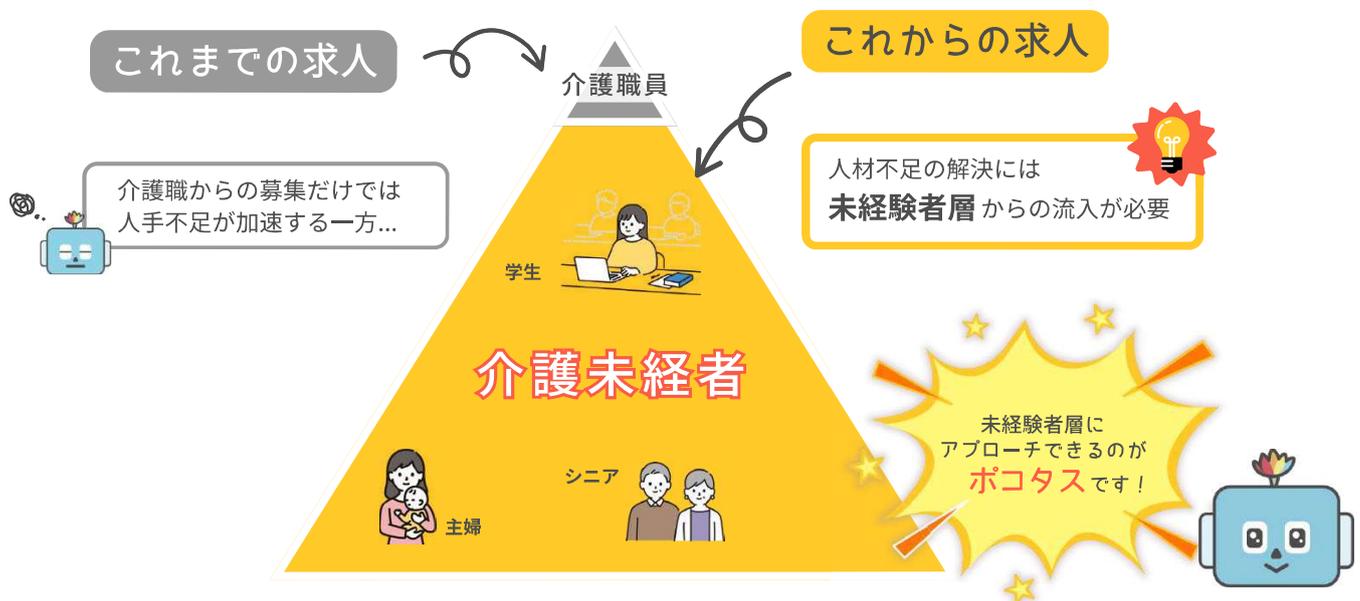
# ポコタス

株式会社No.K



## ポコタスとは...

“来ない”から“選べる”を叶える  
未経験人材の新しい流入のカタチ

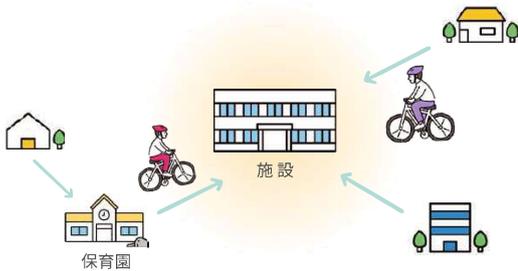


## ポコタス

- ✓ 地域の主婦(夫)やミドルシニア層が働きにくる

- ✓ 施設にあう人材を選べる

- ✓ 分業と育成を兼ね備えた採用ができる



”**将来の介護職をつくる**”  
その導線を設計することが大切です！

## 事例紹介

### Before

大阪府内の大手事業所。他媒体で求人広告をかけるも、3ヶ月間応募ゼロ。

### ポコタス



4事業所で12掲載

- 1 午前中の3時間、キッチンで配膳準備
- 2 利用者さんの見守りと軽作業だけでOK
- 3 午後の隙間時間に。おしゃべりとレクで3時間

### After

応募者 **11** 人 / 1ヶ月

↳ 8人面接 → **2** 人採用！



## ポコタスでつくれる入口



## 介護職員が担う



(例) 午前中の3時間、キッチンで配膳準備  
 → 1ヶ月で11名の応募  
 → 8名面接 → 2名採用

無資格スタートだとしてもハードルが高く、劇的な応募が見込めない

## すべて1万円の範囲で求人掲載

### ポコタスの2分動画って？

立地訴求

仕事内容

研修動画

2分に！

自分でもできそう！

近所にある ✨ が伝わる動画 💡

#### 動画構成

目印や立地を伝える景色

出勤・着替え

施設内の1日の流れ

	朝	起床の呼びかけ
洗濯		朝食の配膳
おしゃべり	昼	昼食の配膳
レク見守り		ドライヤー
歯磨き補助	夜	夕食の配膳

退勤



1日の中で、未経験の方が「できそう」と思えるシーンを紡いでいきます

## 料金【ポコtas】

### ポコtas システム導入料

**20** 万円（税別）



ポコtas動画制作（約2分）・記事の掲載



コモエス求人原稿作成



コモエス各種SNS導線を利用



広告代行（indeed、求人ボックス、SNS広告等）

- ✓ ホームページに載せる等、**二次利用も可能**です。
- ✓ 各種SNSに投稿した動画は、**削除の希望がない限り残ります。**

## 料金【求人チケット】

### 料金プラン

求人掲載	\ 無資格者の採用 / 正社員 / パート
<b>1</b> チケット	<b>1</b> 万円

※別途、消費税がかかります。

### 1 チケットでできること

- ✓ 1施設1職種の求人を広告
- ✓ 採用保証付き …掲載スタートより4週間で採用に至らない場合、1名が採用に至るまで無料で延長となる保証制度です。無資格未経験者であればパートだけでなく正社員も対象となります。



## 採用コストシミュレーション



ポコタスでは、  
**無資格未経験者 1万円**での採用が可能です！

★ 正社員・パートどちらでも可 ★ 求人チケットは通常4週間の掲載ですが、採用保証により1チケット1名の採用をお約束しております

## 情報交換について

### 1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

#### (1) 会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

#### (2) 正副会長等会議において、施設長会での情報交換テーマを検討します。

#### (3) 施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

### 2 令和 7 年度第 4 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「行政との意見交換会」

内 容：川崎の高齢者福祉の未来を明るくするために、現状困っていること、相談したいこと、協働したいこと等について建設的な意見交換を行う。

### 3 令和 7 年度第 3 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「10月の施設長会で行政に聞いてみたいこと、相談したいこと」

内 容：10月の施設長会の情報交換会は行政との情報交換を予定しています。

川崎の高齢者福祉の未来のために、相談したいこと、協働したいこと等建設的な話し合いにすることができる内容を検討します。

### 4 令和 7 年度第 2 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「食材料費・水光熱費等の高騰による影響、熱中症対策の取り組み」

内 容：米を含めた食材料の高騰に伴い発生している課題

6月1日から義務化された熱中症対策への体制整備や取り組み

## 5 過去の情報交換会テーマ一覧

### 【令和4年度】

6月15日	施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～
8月25日	新型コロナウイルス第7波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10月19日	I C T機器の導入について
12月21日	【中間報告】第3回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2月15日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

### 【令和5年度】

4月19日	災害について（各区の防災班長・副長について）
6月21日	新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化について
8月23日	派遣職員と人材紹介事業所について
10月18日	派遣職員と人材紹介事業所について～part 2～
12月20日	容態急変等による救急対応や看取りの現状について
2月21日	人材確保・災害対策・感染対策・事業所契約・利用者トラブル等、各施設で今年度一番対応に苦慮した事例について

### 【令和6年度】

4月17日	介護保険法の改正と報酬改定により示された国の方向性に特養はどう取り組む必要があるのか
6月19日	経営政策研究ワーキングで協議した内容（人材育成）について
8月28日	介護報酬改定を受けて取り組みが変化したことや新たに取り組むようになったこと
10月16日	物価高騰に伴い事業者との関りで困っていること、不安に感じていること
12月18日	物価高騰・人材確保・人事管理等の対応で施設長として悩むこと
2月19日	各施設で今年度一番対応に困ったこと

## お茶の水ケアサービス学院 法定研修一覧

No.	研修番号	研修タイトル	講師	対象	講義時間
<b>1.認知症及び認知症ケアに関する研修</b>					
1	s142	認知症～認知症は病名ではない。ザックリして良い～	加藤 慶	1～3年	27分30秒
2	s166-6	認知症 ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	16分51秒
3	30分-250	若年性認知症の方への支援1「認知症高齢者とともに過ごす環境下における配慮」 ※NEW	田島 利子	5年以上/リーダー	29分27秒
<b>2.プライバシーの保護の取り組みに関する研修</b>					
4	s137	プライバシー保護～守秘義務と個人情報は違う～	加藤 慶	1～3年	29分58秒
5	s166-8	個人情報保護 ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	12分55秒
6	15分-178	介護福祉士とプライバシー ※NEW	齊藤 浩二	1～3年	12分56秒
<b>3.倫理及び法令遵守に関する研修</b>					
7	s138	倫理と法令遵守～難しい内容は結構大切～	加藤 慶	1～3年	27分35秒
8	s166-7	倫理・法令遵守 ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	18分28秒
<b>4.事故発生の防止の研修</b>					
9	s141	情報公表対応研修 リスクマネジメント危機管理～ヒヤリハット≠インシデント～	加藤 慶	1～3年	43分31秒
10	s166-1	事故防止の知識/緊急時対応の理解 ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	30分55秒
11	15分-199	リスク感性とヒヤリハット分析 ※NEW	木原 康彦	3～5年	10分24秒
12	15分-200	安全文化について考える ※NEW		3～5年	11分04秒
<b>5.緊急時の対応に関する研修</b>					
13	s144	緊急時対応～危機管理の実践をいかにこなしていくか～	加藤 慶	1～3年	31分36秒
<b>6.感染症の予防及びまん延防止のための研修</b>					
14	s135	新型コロナウイルス感染症5類になって変わること	田島 利子	5年以上/リーダー	61分18秒
15	s146	情報公表対応研修 感染症の予防～慣れたらおしまいという言葉のとおり～	加藤 慶	1～3年	29分10秒
16	s166-3	感染症の予防とまん延防止/食中毒の予防とまん延防止 ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	25分36秒
<b>7.食中毒の予防及びまん延防止のための研修</b>					
17	15分-169	介護事業所・施設で起きやすい食中毒	田島 利子	3～5年	7分34秒
18	15分-170	食中毒菌繁殖の3条件と食中毒予防の3原則		3～5年	13分11秒
19	a200	季節に応じた食中毒予防と蔓延の防止に関する研修 ※NEW	山本 陽子	3～5年	77分42秒
<b>8.身体拘束の適正化のための研修</b>					
20	s139	情報公表対応研修 身体拘束廃止～拘束とは何を指しているのだろうか～	加藤 慶	1～3年	31分41秒
21	15分-92	身体拘束の基礎知識	金沢 善智	3～5年	13分05秒
22	15分-104	身体拘束をしないための具体策	田島 利子	1～3年	15分44秒
<b>9.介護予防及び要介護度進行予防に関する研修</b>					
23	s136	介護予防～介護予防はお年寄りたちより私たち～	加藤 慶	1～3年	39分46秒
24	s166-9	介護予防 ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	12分21秒
<b>10.医療に関する教育、研修</b>					
25	s133	老化を知る「からだ」 ※NEW	渡辺 修一郎	5年以上/リーダー	104分36秒
26	s147	医療の知識～人を助けるためには必要となる～	加藤 慶	1～3年	35分44秒
<b>11.看取り（ターミナルケア）に関する研修</b>					
27	s148	ターミナルケアと看取りケア～医療も福祉も大切にしているのは同じ～	加藤 慶	1～3年	37分36秒
28	s166-10	ターミナルケア/精神的ケア ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	19分35秒
<b>12.精神的ケアに関する研修</b>					
29	15分-j85	高齢者への精神的ケア	田島 利子	1～3年	10分17秒
30	15分-j86	障がい者への精神的ケア ※NEW		1～3年	15分31秒
<b>13.虐待の防止のための研修</b>					
31	s140	高齢者虐待防止～他人は自分の思い通りにならない～	加藤 慶	1～3年	33分24秒
32	s166-5	虐待防止/身体拘束防止 ※NEW	榊原 宏昌	1～3年	34分49秒
<b>14-1.BCP研修（策定・感染対策・災害対策に関する研修）</b>					
33	s145	情報公表対応研修 非常災害時対応～備えあれば憂いなしという日本古来からの言葉～	加藤 慶	1～3年	30分19秒
34	s156	介護BCP	田島 利子	3～5年	69分01秒
35	30分-171	感染症に係る業務継続計画1 ※NEW	神崎 トモ子	管理者	34分03秒
36	30分-172	感染症に係る業務継続計画2 ※NEW		管理者	38分50秒
37	30分-173	感染症に係る業務継続計画3 ※NEW		管理者	37分41秒
38	30分-174	感染症に係る業務継続計画4 ※NEW		管理者	24分39秒
39	30分-175	感染症に係る業務継続計画5 ※NEW		管理者	24分04秒
40	30分-176	感染症に係る業務継続計画6 ※NEW		管理者	26分05秒
41	30分-179	介護サービス事業所の防災対策とBCP 1 BCPって何ですか？	渡辺 真一	管理者	34分22秒
42	30分-180	介護サービス事業所の防災対策とBCP 2 実用的なBCPをつくる		管理者	29分28秒
43	30分-181	介護サービス事業所の防災対策とBCP 3 災害による被害ケース別の対策		5年以上/リーダー	18分15秒
44	30分-182	介護サービス事業所の防災対策とBCP 4 BCP発動		管理者	7分13秒
45	30分-183	介護サービス事業所の防災対策とBCP 5 介護事業所が準備すべき防災備蓄品		5年以上/リーダー	28分35秒
46	30分-184	介護サービス事業所の防災対策とBCP 6		管理者	12分43秒
47	30分-185	介護サービス事業所の防災対策とBCP 7 ご利用者に対する減災の取り組み		5年以上/リーダー	14分10秒
48	h2411	BCP研修と訓練の違い ※NEW	田島 利子	管理者	8分07秒

## 14-2.BCP訓練

49	30分-213	ガウン・マスク・手袋の装着	田島 利子	1～3年	12分49秒
50	30分-214	ガウン・マスク・手袋の外し方		1～3年	11分09秒
51	30分-215	N95マスク装着方法		1～3年	8分11秒
52	30分-216	フロアでのゾーニング～隣接した居室編～		1～3年	16分27秒
53	30分-217	フロアでのゾーニング～離れた居室編～		1～3年	13分36秒
54	30分-218	ゾーニングの基本～居室編～		1～3年	19分29秒
55	30分-228	テーブル・ドアノブの正しい拭き方		1～3年	15分44秒
56	30分-229	嘔吐物の処理		1～3年	12分58秒

## 15.褥瘡対策に関する継続的教育

57	15分-209	隙間時間に学びたい「褥瘡予防とケアに必要な知識と実践」①褥瘡とは？ ※NEW	藤生大我	1～3年	13分49秒
58	15分-210	隙間時間に学びたい「褥瘡予防とケアに必要な知識と実践」 ②褥瘡のできやすい部位と状態を知る ※NEW		1～3年	11分18秒
59	15分-211	隙間時間に学びたい「褥瘡予防とケアに必要な知識と実践」 ③褥瘡になりやすい人を知り、なる前に気づく ※NEW		1～3年	17分23秒
60	15分-212	隙間時間に学びたい「褥瘡予防とケアに必要な知識と実践」 ④体位変換（寝返り支援）について ※NEW		1～3年	14分04秒
61	15分-213	隙間時間に学びたい「褥瘡予防とケアに必要な知識と実践」 ⑤マットレスとクッションについて ※NEW		1～3年	12分56秒
62	15分-214	隙間時間に学びたい「褥瘡予防とケアに必要な知識と実践」⑥ポジショニングについて ※NEW		1～3年	20分52秒

## 16.ハラスメント対策研修

63	15分-134	パワハラ防止を防止するための具体策	榑原 宏昌	管理者	10分43秒
64	15分-135	パワハラといわれたいための育成・指導		5年以上/リーダー	10分19秒
65	15分-165	カスタマーハラスメント対策～利用開始前の説明～	渡邊 信介	5年以上/リーダー	11分01秒
66	15分-166	カスタマーハラスメント対策～日頃から出来ること～		5年以上/リーダー	11分52秒
67	15分-177	カスタマーハラスメントが起きた時の対応のポイント ※NEW		5年以上/リーダー	9分29秒

## 17.入浴

68	M14-01	【介護技術動画】一般的な浴槽への出入りの仕方	田島 利子	1～3年	10分56秒
69	M14-02	【介護技術動画】一般的な浴槽（湯あり）への出入りの仕方（麻痺なし）		1～3年	6分07秒
70	M14-03	【介護技術動画】一般的な浴槽への出入りの仕方（右片麻痺あり）		1～3年	11分40秒
71	M14-04	【介護技術動画】一般的な浴槽（湯あり）への出入りの仕方（右片麻痺あり）		1～3年	4分52秒
72	M14-05	【介護技術動画】泡の作り方（固形石鹸）		1～3年	3分40秒
73	M14-06	【介護技術動画】洗体と洗髪の仕方		1～3年	15分00秒
74	M14-07	【介護技術動画】ベッド上での足浴の仕方		1～3年	8分32秒

## 18.生産性向上のための研修

75	30分-251	生産性向上アドバイザー ファーストステップ研修1「厚生労働省が介護現場に求める生産性向上」 ※NEW	神 智淳	管理者	40分38秒
76	30分-252	生産性向上アドバイザー ファーストステップ研修2「生産性向上の具体的な取り組み（前編）」 ※NEW		管理者	35分57秒
77	30分-253	生産性向上アドバイザー ファーストステップ研修2「補足：チームワーク」 ※NEW		管理者	35分44秒
78	30分-254	生産性向上アドバイザー ファーストステップ研修3「生産性向上の具体的な取り組み（後編）」 ※NEW		管理者	18分55秒
79	30分-255	生産性向上アドバイザー ファーストステップ研修4「ルールづくりと定着」 ※NEW		管理者	33分55秒
80	30分-256	生産性向上アドバイザー ファーストステップ研修5「取り組み」 ※NEW	管理者	38分52秒	

## リンク

■令和8年度 Zoomオンライン研修 年間予定（受講料無料 ※一部有料のセミナーがございます）

## 「ふくしの出張講座」

## (1) 経過

社会福祉施設（法人）の「地域における公益的な取組」として、施設（法人）の持つ専門性やノウハウを活用し、施設部会（社会福祉施設）が講師可能なメニューを地域の方々へ提示し、出張講座を行う。

- 令和3年度にパンフレット作成
- 令和4年度からパンフレット配布

## (2) 令和7年度の依頼・実施状況等

①日時：令和7年6月19日（木）9時20分～10時30分

団体：南百合丘小学校

対象：小学4年生20名

講師：ラスール麻生[高齢]

内容：3グループに分かれて子(ね)ユニット・丑(うし)ユニット（個室ケア）見学  
車いす体験・介護技術体験（椅子からの立ち上げ）  
デイサービス見学・利用者とのふれあい

②日時：令和7年7月22日（火）10時～11時30分（予定）

団体：中野島地区社会福祉協議会 青少年幼児部

対象： " 部員 8名

講師：かわさきさくら児童家庭支援センター <sup>もたい</sup> 罇 相談員[児童]  
北部児童相談所 松田副所長

内容：区内および市内の児童相談の現状について

③日時：令和7年8月26日・9月19日・10月3日

団体：川中島中学校

対象：中学1年生 225名（6クラス9

講師：藤崎地域包括支援センター（大師の里からの紹介） 本間センター長[高齢]  
ふじみ園（地域相談支援センターふじみ） 小林園長[障害]  
よつば保育園 清水園長[保育]  
ノーマ・ヴィラージュ聖風苑 中村苑長[救護]

内容：3年間にわたる総合学習の第一段階として、福祉についての理解を深め、福祉の様々な分野について知ってもらう

- ④日時：9月11日（木）9時～12時  
団体：下小田中小学校  
対象：小学4年生 176人  
講師：すみよし地域包括支援センター[高齢]  
地域密着型特別養護老人ホームせせらぎ[高齢]  
とどろき地域包括支援センター[高齢]  
こだなか地域包括支援センター[高齢]  
内容：車いす体験
- ⑤日時：9月26日（金）10時30分～  
団体：高津第2地区民生委員児童委員協議会 児童福祉委員会  
対象：委員15名  
講師：まぎぬ児童家庭支援センター 石橋センター長[児童]  
内容：令和7年2月に実施された児母協研究発表会の内容が参考になったため、  
地区でも話してもらいたい  
「家庭における育ちと支援～児童家庭支援センターの取り組みから～」
- ⑥日時：10月3日（月）14時～15時  
団体：宮前第2地区社会福祉協議会障害者福祉委員会  
対象： " 委員15名  
講師：ファームランドながお 柳澤 管理者[障害]  
内容：「大人の発達障害」について
- ⑦日時：10月28日（火）9時45分～11時15分  
団体：中原区民生委員児童委員協議会  
対象：民生委員児童委員 275名  
講師：地域密着型特別養護老人ホームいせうら 平田氏[高齢]  
内容：基礎的な介護の話と介護現場の体験談
- ⑧日時：11月17日（月）10時～12時  
団体：セレサ川崎農業協同組合  
対象：育休・産休中職員 10組程度（予定）  
講師：たつのこのはら保育園[保育]  
まぎぬ児童家庭支援センター[児童]  
内容：交流イベントへの協力、親子でできるふれあい体操や保育園入園に向けた  
心構え等

令和7年度 神奈川県社会福祉施設協議会施設部会老人福祉施設協議会  
第2回委員会

日 時：令和7年9月25日（木）午後3時～午後5時  
会 場：かながわ県民センター12階 第2会議室

**挨拶：西山会長**

**議事進行：西山会長**

■ 議題

- 1 第22回かながわ高齢者福祉研究大会の開催結果について  
→ **県社協より説明**
  
- 2 第23回かながわ高齢者福祉研究大会について  
→ **県社協より説明**  
**次回実行委員長当番ブロックである川崎市より、陽だまりの園の高橋施設長より挨拶**
  
- 3 課題別部会について  
→ **県社協より説明**  
**今年度下半期に施設運営・災害対応・人材確保に関する各部会を開催予定**
  
- 4 特別養護老人ホーム入所申込者調査について  
→ **施設運営に関する部会で取り組みたいことについて、加藤副会長より説明**
  
- 5 採用定着強化のためのセミナーについて  
→ **県社協より説明**
  
- 6 高齢者福祉施設PR委員会について  
→ **県社協より説明**
  
- 7 各ブロックの取組状況について  
→ **各ブロック事務局より説明（割愛）**

## 第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会 総括と次回大会への展望

### 1. はじめに

本報告書は、2025 年 7 月 2 日に開催された**第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会**の成果と課題を多角的に分析し、**2027 年に開催予定の次回大会**に向けた具体的な提言をまとめるものです。本大会は、運営方法の大幅な見直しを経て 2 年ぶりに開催されました。神奈川県内の高齢者福祉施設職員が日々の実践や研究成果を発表する貴重な機会ですが、近年は**発表者の減少**という課題も抱えています。

このレポートは、次期実行委員長（**川崎市より選出予定**）をはじめ、今回参加されていない方も含めた次期実行委員会の皆様が、客観的なデータに基づき円滑に大会準備に着手できるよう、詳細な分析と具体的なアクションプランを提示することを目的とします。

### 2. 開催概要と主な成果

本大会では、**QR コード受付**や**協賛企業 CM の放映**など、複数の新たな試みを導入しました。主要な実績は以下の通りであり、参加者・協賛企業双方から高い評価を得て、盛況のうちに閉会したことがデータから示されています。

主要指標	結果	根拠データ
総申込者数	766 名	大会参加申込.csv
実来場者数	622 名	出席集計.csv
参加者満足度	<b>**88%**</b> が満足と回答 (5 段階評価 4 以上)	参加者アンケート.csv
協賛企業満足度	<b>**72%**</b> が満足と回答 (5 段階評価 4 以上)	協賛企業アンケート.csv
次回協賛意向	<b>**83%**</b> が前向きな意向	協賛企業アンケート.csv

### 3. 詳細分析

#### (1) 参加状況の詳細分析

##### ● 地域別申込状況：

ブロック別の申込者数は以下のとおりです。横浜市と県域からの参加が全体の約 76%を占める構成となっています。

ブロック	申込者数(名)	構成比
県域	298	38.9%
横浜市	285	37.2%
相模原市	91	11.9%
川崎市	87	11.4%
県外	5	0.7%
合計	766	100.0%

● **受付の流れと QR コードシステムの評価:**

来場はプログラム開始時刻 (10:00) 直前の **9:30~9:59 に全体の約 4 割が集中する**という顕著なピークが見られました。この集中にもかかわらず、参加者アンケートでは「QR コードでの入場がスムーズだった」という肯定的な意見が多数寄せられ、新システムが円滑な運営に大きく貢献したと評価できます。

**(2) 参加者満足度とプログラム評価**

● **参加者の関心と審査結果の比較:**

発表	参加者の関心	審査員評価	考察
わたしたちの“想い”をかなえる第 1 歩	非常に高い	最優秀賞(162 点)	「働きがい」というテーマが、参加者・審査員双方のニーズに合致。
マクドナルドをもう一度食べたい!	最も高い	高評価(129 点)	利用者の願いを叶える物語性が、多くの参加者の共感を呼んだ。
多様な人材登用のために必要なこと	一定の関心	優秀賞(154 点)	人材という業界共通の課題へのアプローチが、専門的視点から高く評価された。

● **介護技術発表:**

「GIFT 式介護技術」など具体的な技術への関心は高いものの、参加者からは「会場後方から実演が見えなかった」との意見が寄せられました。また、発表者からは「評価基準があったほうが目標を立てやすい」という声もあり、運営方法や評価体系に改善の余地がある可能性が示唆されます。

**(3) 協賛企業からの評価と提案**

運営事務局のサポート体制が\*\*94%\*\*から「満足」という極めて高い評価を得ました。一方で参加者との交流機会の創出に関して、以下のような具体的な改善提案が寄せられています。

- 参加者の所属がわかる**名札の導入**
- 企業ブースを訪問するための**専用時間の確保**
- 予算策定のための**早期の情報提供(半年前など)**

これらの提案は、協賛企業が本大会を重要なビジネスおよびネットワーキングの機会と捉えている証左であり、満足度を高めるための重要なヒントです。

**(4) メディア・広報分析**

**タウンニュース**と**福祉新聞**の双方から肯定的に報道されましたことは、本大会の社会的価値を示す上で大きな成果です。

- **タウンニュース**は、地元の施設や企業の参加を報じ、地域社会における大会の役割を伝えました。
- **福祉新聞**は、DX や YouTube 活用といった業界の先進的な取り組みに焦点を当て、専門的な学びの場としての価値を伝えました。

本大会が持つ「地域性」と「先進性」という二つの側面を、次回広報でも戦略的に発信していくことが有効と考えられます。

---

#### 4. 考察：大会の強みと課題

- **強み (Strengths)**

1. **質の高いコンテンツと参加者満足度**：大会内容は参加者のニーズを捉えており、全体満足度は非常に高いです。
2. **円滑な運営を実現した新システム**：QR コード受付は、来場ピーク時の混雑を緩和し、高く評価されました。
3. **協賛企業との良好な関係**：事務局の丁寧なサポートにより、企業からの信頼が厚く、次回への協賛意向も高いです。
4. **社会への発信力**：地域・専門メディア双方から好意的に報道され、大会の価値が外部に広く認められました。

- **課題 (Challenges)**

1. **発表者の減少傾向**：大会の根幹に関わる最も重要な課題です。
2. **参加者の期待の多様化**：「学術的な質」を求める声と、「日々の実践や共感」を求める声の双方への配慮が必要です。
3. **交流機会の不足**：参加者から「企業ブースを見る時間がなかった」という声があり、協賛企業の要望と一致しています。
4. **申込者の当日欠席率**：申込者 766 名に対し、実来場者 622 名という状況から、**約 19%の欠席率**がうかがえます。

---

#### 5. 次回大会(2027年)に向けた具体的なアクションプラン提案

##### (1) 発表者の確保と育成に向けた戦略

- **2026 年度ブロック予選会の活用**：予選会を単なる選抜の場ではなく、**発表者を育成・支援する機会**と位置づけ、発表テーマに関する相談会や、プレゼンテーション技術の研修会などを企画し、発表へのハードルを下げます。
- **重点テーマの設定と公募**：アンケートで関心の高かった「人材育成・定着」「ICT・生産性向上」「看取りケア」などを重点テーマとして設定し、予選会で広く発表を公募することで、潜在的な発表者の参加意欲を喚起します。
- **表彰制度の多様化**：最優秀賞（県知事表彰予定）に加え、参加者投票による「オーディエンス賞」や、**初発表者を対象とした「奨励賞」**などを設け、多様な発表者が表彰される機会を創出します。

## (2) プログラムの魅力向上と多様なニーズへの対応

- **基調講演・シンポジウムの導入**: 重点テーマについて、第一線で活躍する専門家を招いた基調講演や、複数の施設によるパネルディスカッションを企画し、大会の学術性と満足度を向上させます。
- **介護技術発表の会場設計と運営の見直し**: 実演が見やすいよう、ステージを設ける、あるいは複数モニターを設置するなど、会場レイアウトを工夫。また、専門家による講評やアドバイスの時間を設け、発表者へのフィードバックを強化します。

## (3) 参加者と協賛企業のエンゲージメント強化

- **協賛企業提案の実行**: 次回大会では、「所属団体名・氏名」を大きく記載した**名札を導入**します。また、プログラム内に「協賛企業ブース訪問タイム」(例: 昼休憩の後半 30 分など)を試験的に設定することを推奨します。
- **事前コミュニケーションの強化**: 申込者に対し、大会 1 ヶ月前から見どころや注目発表を紹介するメールを定期的に配信し、当日への期待感を高め、欠席率の低下を図ります。

## (4) 運営基盤の強化と円滑な引継ぎ

- **運営マニュアルの作成**: 今回の運営実績(特に QR コード受付や協賛企業 CM の運用フロー)をマニュアルとして文書化し、次期実行委員会へ引き継ぎます。
- **早期の計画策定と情報公開**: 協賛企業の要望に応え、大会の骨子や協賛メニューを**早期(大会の 1 年～半年前)に決定**し、案内を開始するスケジュールを確立します。

## 6. おわりに

第 22 回大会は、多くの新たな試みと共に大きな成功を収め、次回への確かな足掛かりを築きました。本報告書が、川崎市から選出される次期実行委員長をはじめとする皆様の一助となり、2 年後の大会がさらに飛躍するための一助となることを心より願っております。

---

## 大会総括と次回への展望:詳細分析レポート②(協賛企業アンケート)

### 2. 協賛企業アンケートの分析

#### 【分析の要点】

- 協賛企業の満足度は高く、特に**運営事務局のサポート体制**が高く評価されています。
- 次回大会への出展意向も非常に高く、本大会が**価値あるネットワーキングと情報交換の場**として認識されていることが示唆されます。
- 一方、**参加者との交流機会や時間**を十分に確保することに課題を感じている企業も多く、具体的な改善要望が寄せられています。

#### (1) 全体満足度と次回出展意向

- **全体満足度**: 回答企業 18 社のうち **72%** (13 社)が「満足」または「大変満足」と回答。

- **次回出展意向: 83%** (15社)が「ぜひ協賛・出展したい」など前向きな意向を示しています。
- **強み:**「協賛費用以上の収穫があった」「神奈川県での情報交換の場として重要な位置づけ」といったコメントが寄せられました。

## (2) 個別項目評価(費用・来場者・サポート)

- 運営事務局のサポート体制: 94%(17社)が「満足」または「大変満足」と回答しており、極めて高い評価を得ています。「細やかにサポートして下さったあかげで当日は不備なく企業ブースの出展ができました」といった具体的な賞賛の声も寄せられています。
- ブースへの来場者数や反応: 評価がやや分かれる結果となり、「満足」または「大変満足」が50%(9社)である一方、「不満」も17%(3社)見られました。参加者の「企業ブースを診る時間がなかった」という声と関連するプログラム構成上の課題が示唆されます。
- 協賛費用: 過半数の企業が「妥当」「やや妥当」と回答したことから、概ね納得感のある価格設定であったと推測されます。

## (3) 新たな試み「動画広告」への評価

- 動画作成状況: 回答企業18社のうち、**8社**が「作成した」と回答。
- 次回意向: 「作成する」と回答した企業が**8社**あり、一定の関心と期待が寄せられています。
- 考察: 動画広告は、企業の認知度向上に貢献する新しい協賛メニューとして定着する可能性を秘めています。ただし、作成しなかった理由に「時間がなかった」との声もあり、**広告作成のリードタイムを考慮した早期の案内**が利用率を高める鍵となりそうです。

## (4) 自由記述から見る具体的な改善要望

### ① 参加者との交流を促進する仕組み

要望:「来場者がどなたかわかるような名札(施設名が記載されているなど)があると声をかけやすいです」

### ② 企業ブースへの回遊を促す時間設定

要望:「ブースに出店している企業を**20分~30分位**大会参加者からみてもらえるような時間を設けてほしい」

### ③ 早期の情報提供

要望:「本部許可を取る必要があるため**半年ほど前に情報をいただきたい**です」

## 大会総括と次回への展望:詳細分析レポート③

### 3. 出席集計データを基に、受付の流れの分析

#### 【分析の要点】

- 来場者はプログラム開始時刻(10:00)前の**1時間に集中**する傾向が明確に見られました。
- この集中にもかかわらず、参加者からはQRコード受付が「スムーズだった」という肯定的な評価が多数寄せられており、新システムが円滑な運営に大きく貢献したと推測されます。

### (1) 時間帯別来場者数の推移

受付は 8 時 30 分から開始されましたが、特定時間帯への集中が確認されました。

時間帯	来場者数	累計	考察
08:30 以前	14	14	関係者の試し打ちなどと推測。
08:30-08:59	50	64	受付開始直後から、徐々に来場者が増え始める。
09:00-09:29	123	187	プログラム開始 1 時間前から、来場者数が急増。
09:30-09:59	<b>242</b>	429	来場のピーク。この 30 分間に全体の約 39%が集中。
10:00-10:29	42	471	プログラム開始後も、受付は継続的に行われている。
10:30 以降	45	516	昼休憩や午後のプログラムからの参加者も一定数いることが確認できる。

### (2) 新たな試み 「QR コード受付」 の評価

- 参加者アンケートからの声: 「QR コードを使っての入場がスムーズでした」、「来場受付が以前と比較して劇的にスムーズになった」など、肯定的な意見が複数寄せられました。
- 考察: 9 時台に 400 名近い参加者が訪れる高負荷な状況下で「スムーズだった」という評価が得られたことは、QR コード受付システム導入が成功であったことを強く示唆しています。

### (3) 次回への提言

- **QR コード受付の継続と強化**を強く推奨します。
- **ピーク時対応の最適化**: 9 時台の受付スタッフの増員や、複数レーンでの対応準備を事前に行うことで、さらに快適な受付環境を構築できると考えられます。
- **部分参加者への配慮**: 大会ウェブサイトや案内において、途中参加も歓迎する旨を明記することで、より多様な参加ニーズに応えることができます。

---

大会総括と次回への展望: 詳細分析レポート④

#### 4. かながわ高齢者福祉研究大会に関する報道から読み取れる記者の想いや期待

【分析の要点】

- 報道は 2 件とも肯定的であり、大会が成功裏に終わったことを裏付けています。
- 「**タウンニュース**」(地域紙) は、**地域住民や地元企業との繋がり**に価値を見出していると推測されます。

- 「福祉新聞」（専門紙）は、業界の課題解決に向けた**先進的な学びの場**として評価し、DX や広報戦略に関心を示していると考えられます。

### (1) タウンニュース - 地域社会における大会の価値

- 記者が注目した点：
  - ・ **地域からの参加**：六角橋地域ケアプラザの支援活動など、読者にとって身近な施設の活動が具体的に取り上げられています。
  - ・ **地域企業との連携**：「協賛企業も出展」という見出しと共に、区内に本社を置く佳雅の出展など、地元企業の参加が紹介されています。
- 記者の想い・期待：

**地域の福祉を担う施設や企業が一堂に会する、開かれた重要なイベント**として認識しており、引き続き地域社会との連携を保ち、地域の福祉力を高める場としての役割を果たすことへの期待が込められています。

### (2) 福祉新聞 - 福祉業界における大会の価値

- 記者が注目した点：
  - ・ **業界トレンドの反映**：「DX」「ユーチューブを活用した広報」「聴覚障害のある職員の雇用に伴う環境づくり」など、現代の福祉業界の課題に対する具体的な実践報告を重点的に取り上げています。
  - ・ **具体的なノウハウ**：「まずは業務を棚卸しし、『ムリ・ムラ・ムダ』を調査」など、読者が自施設に持ち帰ることのできる具体的な情報や問題提起を紹介しています。
- 記者の想い・期待：業界の未来を切り拓くための**先進的な知見が集まる、価値ある学びの場**と高く評価しており、革新的で実践的な取り組みが発表されることへの強い期待を持っています。

### (3) 総括と次回広報への示唆

- 次回への提言：地域メディアと専門メディアでプレスリリースの内容を分ける「ツーウェイアプローチ」が有効と考えられます。
    - ・ 地域メディア向け：地元の発表施設や協賛企業の情報、参加者の声などを中心に構成。
    - ・ 専門メディア向け：「人材不足への新たな一手」など、**業界のトレンドや課題に合わせたテーマ性**を打ち出す。
-

## 第22回かながわ高齢者福祉研究大会 参加申込・当日参加者ならびに参加費の状況について

### 参加申込・参加費の状況

参加対象者	参加費用	事前申し込み					当日	合計	単価	参加費(円)
		県域	横浜市	川崎市	相模原市	小計				
研究発表者(会員)	(会員)会場参加+アーカイブ視聴	19	18	10	7	54		54	8,000	432,000
研究発表者(非会員)	(非会員)会場参加+アーカイブ視聴		2	3		5		5	10,000	50,000
介護技術発表者(会員)	(会員)会場参加+アーカイブ視聴	20	4	3	5	32		32	8,000	256,000
介護技術発表者(非会員)	(非会員)会場参加+アーカイブ視聴		2			2		2	10,000	20,000
施設職員	(会員)会場参加+アーカイブ視聴	161	196	55	50	462	4	466	8,000	3,728,000
	(非会員)会場参加+アーカイブ視聴	16	18	16	6	56	1	57	10,000	570,000
	(会員)アーカイブ視聴	1	5			6		6	5,000	30,000
	(非会員)アーカイブ視聴		8			8		8	7,000	56,000
							630			¥5,142,000

一般	無料		140
----	----	--	-----

### 当日のQRコード読み込みでの参加人数

参加対象者	参加費用	事前	当日	計
研究発表者(会員)	(会員)会場参加+アーカイブ視聴	39		39
研究発表者(非会員)	(非会員)会場参加+アーカイブ視聴	4		4
介護技術発表者(会員)	(会員)会場参加+アーカイブ視聴	25		25
介護技術発表者(非会員)	(非会員)会場参加+アーカイブ視聴	0		0
施設職員	(会員)会場参加+アーカイブ視聴	408	4	412
	(非会員)会場参加+アーカイブ視聴	52	1	53
一般		97	62	159
来賓・行政等			8	8
報道			3	3
		625	78	703

## 第 23 回かながわ高齢者福祉研究大会について

### 1. 開催日

開催日: 令和 9 年 (2027 年) 7 月 7 日 (水)

準備日: 令和 9 年 (2027 年) 7 月 6 日 (火)

### 2. 場所

場所: パシフィコ横浜会議センター 3 階 (横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1)

予約会場 (準備日): 311、316

予約会場 (開催日): 301-304 (研究発表)

311+312、313+314 (受付等)

315 (介護技術発表)

316-318 (救護室、来賓、本部)

### 3. 会場使用料

◆ 室料総額	2,409,330円
--------	------------

予約金 722,799円

→室料総額 2,409,330円の30%を令和 7 年 9 月 25 日支払済み

会場使用料 残金 1,686,531円

→残額 (室料総額の30%) を令和 9 年 6 月 4 日までに支払い

◆備品ならびに追加利用料→開催後に事後精算

## 特別養護老人ホーム 入所申込者調査について(案)

### 1. 調査目的

近年増加する有料老人ホームなどの民間施設をはじめ、各種老人福祉関連施設の現状と将来的な入所者数の変動といった社会状況の変化が、特別養護老人ホームに与える影響を多角的に分析することを目的として入所申込者数および待機者数の現状について調査・分析を行うものである。

調査結果は、会員法人だけでなく、行政や関係機関に示し、地域の実情に応じた高齢者福祉サービスのあり方を再考するための基礎資料とする。

### 2. 調査対象

神奈川県社協老人福祉施設協議会の会員の特別養護老人ホーム（267施設）

（神奈川県高齢者福祉施設協議会、横浜市社協高齢者部会、川崎市社協老人福祉施設協議会、相模原市社協高齢者福祉施設部会の会員施設）

### 3. 調査内容

各施設・法人では様々なアンケートや調査が依頼されている現状があり、別途調査を実施しているブロック等もあることから、各施設の負担を最少にした調査項目を設定したい。

※ 生活相談員が短時間で回答できる内容で検討。

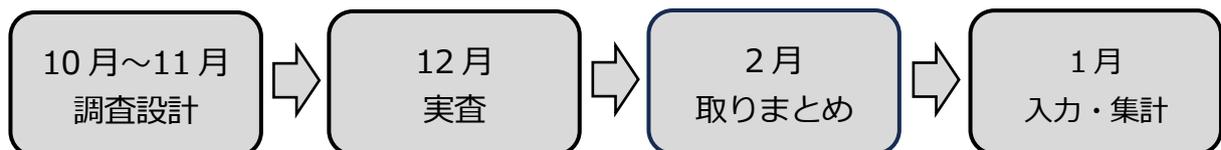
#### ① 施設の概要

所在地、施設の居室種類、入所定員、ショートステイの状況

#### ② 入所申込について

入所申込者数、本人情報の確認、待機者の状況確認、入所確認した数、入所確認時に保留となった理由と数、申込の取下げ数、すみやかな入所が必要と考える数、特例入所が必要と考える数

### 4. スケジュール



特別養護老人ホーム入所待機状況

圏域名	令和7年4月1日現在 (人)					
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
横浜圏域	174 (89)	536 (303)	1,949 (1,144)	1,835 (702)	984 (290)	5,478 (2,528)
川崎圏域	68	142	778	599	409	1,996
相模原圏域	1	0	266	235	138	640
横須賀三浦圏域	4	14	543	529	341	1,431
県央圏域	15	34	528	502	332	1,411
湘南東部圏域	22	36	274	275	192	799
湘南西部圏域	34	46	374	342	207	1,003
県西圏域	0	2	210	211	106	529
神奈川県合計	318 (233)	810 (577)	4,922 (4,117)	4,528 (3,395)	2,709 (2,015)	13,287 (10,337)

(注1) 要介護1～5の方を待機者として算出しておりますが、政令市である横浜圏域、川崎圏域、相模原圏域以外の圏域の要介護1、2の数値は、特例入所に該当する方（要介護1－〇又は要介護2－〇の方）の数値です。（政令市については独自調査の結果の数値です。）

(注2) 本票は、待機者の実数把握のため「名寄せ」した結果をとりまとめたものであり、個人の複数施設への重複申込み数（延べ人数）とは異なります。

(注3) ( ) は、横浜圏域における昨年度までの集計方法によるもので、在宅者のみの数値です。

名寄せ後の神奈川県調査 特養待機者状況から各地区施設平均割り出し

圏域名	R7.4.1 時点 待機者合計	R4.10.1 時点 施設数	1 施設平均待機者数 R4 以降に施設増の場合はさらに 減少することになる
横浜圏域	5,478	162	33.81
川崎圏域	1,996	49	40.73
相模原圏域	640	38	16.84
横須賀三浦圏域	1,431	40	35.85
県央圏域	1,411	41	34.41
湘南東部圏域	799	30	26.63
湘南西部圏域	1003	27	37.15
県西圏域	529	18	29.39
神奈川県合計	13,287	405	32.81

※特養の名簿上で名寄せした数字のため老健や有料老人ホーム等の重複はカウントされていない

※待機者の中には病院入院や自宅生活継続等のための保留者が一定数あり

※待機者の中には死亡や入院・施設入居による取り下げ者も一定数含まれる

上記要因を加えると施設毎の実態としての待機者は激減するものと思われる。

老人福祉施設協議会 施設運営部会 担当副会長 加藤 馨

# 老人福祉施設協議会 採用定着力強化のためのセミナー(案)

## 1. セミナー目的

高齢福祉・介護の分野においても人材確保が非常に困難な状況であるが、採用に繋がっても定着に課題があるケースも多い。HELPMAN JAPAN にて行ったアンケート調査の結果をもとに採用手法について再確認し、定着率を上げるための職場内でのコミュニケーションや人材紹介サービスの活用する際のポイントについてセミナーを開催し、採用定着力の強化に繋げる。

## 2. 開催候補日

日時：令和7年12月10日(水) 13時30分～16時

場所：神奈川県社会福祉センター401・402・403

《スケジュール》

時間	内容
13:00～	受付
13:30～15:00	講義
15:00～15:10	休憩
15:10～16:00	アンケート・ヒアリングの実施 ※項目については今後検討

## 3. 講師(案)

坂本 宗庸氏

株式会社インディードリクルートパートナーズ

ソーシャルリレーション推進部 SR企画グループ HELPMAN JAPAN チーム

エキスパートエバンジェリスト

## 4. HELPMAN JAPAN アンケート調査及び連携について

就職した「個人」と採用した「企業」の双方にアンケート調査を実施。

### 【連携取組の狙い】

調査データを基にした採用定着力強化のためのセミナーを連携実施により、

・参加事業者に

↳「採用力強化のための自法人の魅力発信をし続けることの重要性」

↳「人材紹介サービスを活用する際の抑えるべき対応ポイントと有効な活用方法」

↳「定着強化のための、職員コミュニケーションの重要性」等をお伝えすること、  
採用手法を「正しく上手に実施する」ことを再確認頂く

・セミナー内容に関するアンケートにご協力頂き、事業者の声を収集

↳貴団体とアンケート内容の共有し、参加事業者の声を確認。

↳事業者の取組事例の収集/創出を含めた連携（HELPMAN JAPAN サイト等での紹介）等を想定

## 神奈川県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会ホームページの取材について

### 1. 取材班について

学生5名、プロライター1名で開始予定

- 学生5名**：駒澤大学3年生×3名、関東学院大学3年生×1名、4年生×1名

※関東学院大学の学生が1名辞退の連絡あり

- プロライター**：1名（タウンニュース社）

※依頼予定内容：取材・記事作成1件、学生の記事校正・監修

### 2. スケジュール（予定）

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	8/18 プロジェクト取材班ミーティング ホームページコンテンツ	9/18 9/26 プロジェクト取材班ミーティング ホームページコンテンツ	10/30 第22回大会優秀賞の取材 (横須賀老人ホーム)	取材記事の執筆・校正 プロライター取材	学生取材・執筆①	ホームページ(仮)公開 学生取材・執筆②	会議・打合せ ホームページ公開	学生取材・執筆③
			第22回大会優秀賞取材 (相模原市高齢協) (シャローム)					

### 3. 取材テーマ

- 第22回かながわ高齢者福祉研究大会の優秀賞受賞施設（3施設）
- 施設でのセラピーについて（アニマルセラピーや音楽療法等）
- 特別養護老人ホームと有料老人ホームの違い
- 施設の庭の有効活用
- 高齢者福祉施設での食事について
- 施設入所者の日常生活について
- 介護業界での介護ロボットやICTの導入状況、導入の背景や支援について
- 高齢福祉分野での外国人の雇用について
- 外国人の介護保険サービスの利用ならびに施設入所について

# 65歳以上の皆様・ご家族の皆様へ

資料9-6



## ワクチンについて考えてみませんか？

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の流行はまだ終わっていません。
- ✓ 過去1年間の新型コロナによる死亡者はインフルエンザの10倍以上です。
- ✓ 昨年の接種から1年以上が経過し、ワクチン効果は低下しています。
- ✓ 新型コロナワクチンは重症化や死亡のリスクを減らします。
- ✓ ワクチンの安全性は確認されており、専門家によるモニタリングも実施されています。
- ✓ 高齢者ではワクチン接種後の副反応は軽度の発熱や注射部位の痛み等が大半です。
- ✓ 皆様の健康を守り、また他の人に感染を広げないために、ワクチン接種は大切です。
- ✓ 寒さが本格化する前のこの時期にワクチン接種を受けましょう。
- ✓ 新型コロナワクチンはインフルエンザワクチンと同時に受けることができます。

——。接種についての詳細は、かかりつけ医やお住まいの市町村にご相談ください。——

本リーフレットは「2024年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解」  
([https://www.jrs.or.jp/activities/guidelines/file/covid-19\\_20241107.pdf](https://www.jrs.or.jp/activities/guidelines/file/covid-19_20241107.pdf))  
に示されている科学的エビデンスに基づいて、一般の方に分かりやすく作成しています。

制作：©日本呼吸器学会

監修：日本感染症学会、日本ワクチン学会



一般社団法人  
日本呼吸器学会  
The Japanese Respiratory Society



一般社団法人 日本感染症学会  
The Japanese Association for Infectious Diseases



日本ワクチン学会

# 対人援助者が 困った時の対応法

～対応が困難な利用者や  
家族への対応について～  
(理論編)



★介護・障害の施設・事業所従事者対象研修★

講師 **井上 果子**氏

(横浜国立大学教授(博士)、臨床心理士・公認心理師、  
こころの健康相談室『ふおーえむ』相談員)

日時 **第1回：令和7年11月7日(金) (理論編)**  
**14時～16時 ※管理職対象**

**第2回：令和7年11月10日(月) (理論編)**  
**14時～16時 ※現場職員対象**

**第3回：令和7年12月19日(金) (事例検討編)**  
※「事例検討編」は、理論編受講後、申込できます。

場所 川崎市総合福祉センター (エポックなかはら) 6階

定員 各20名 (申込多数の場合抽選となります)

対象 ・川崎市内の介護・障害の施設・事業所従事者  
・井上先生の研修を初めて受講される方

内容 対人援助者が困るときの対応法を学ぶ研修会 (裏面参照)

申込方法 研修申込フォームからお申込ください。

申込締切 **10月17日(金) 12:00**

申込  
フォー  
ム



※申込時に受付完了のメールが届いているか必ず確認してください。メールが届かない場合、受付ができていない可能性がありますのでご注意ください。

また、フォームからのお申込みが難しい場合は別途、川崎市福祉人材バンク(Tel: 739-8726)までご相談ください。

※フォーム申込者には締切後、抽選結果をメールにてご連絡いたします。

## 研修内容

介護や障害福祉の現場で働く私たちは、日々、利用者様やご家族と深く関わります。その中で、悩み、苦しみ、傷ついてしまうことはないでしょうか？サービスの利用者やその家族、上司や同僚との関わりの中で「困ったなあ」と思ったとき、解決策を学びたいと思うことはありませんか。心の仕組みがわかると、困り感は減ります。考え方や物の見方が少し変わると、相手のことが理解できたり、共感できることもあります。相手を変えることはできませんが、自分自身が変わることで、付き合えるようになるのではないのでしょうか。

この研修では、管理職と現場職員それぞれの立場としてその対応方法を学び、問題の対応力UPを図ります。

### 《井上先生からメッセージ》

福祉人材バンクにおいて「心の相談室」を開設しています。

「心の相談室」では、相談に来られた方の職場で課題が発生し、その方が困ったり、悩んだりした時の「人間関係の換え方」や「組織・集団への介入法」のノウハウをお伝えしています。

どの相談者も、仕事で関わっている方々(利用者さん、職場の上司や部下、同僚等)から様々な「感情」を向けられています。「良い感情」を向けられることが多いです。しかし、時には「悪い感情」を向けられることもあります。向けられた感情や態度によって、自身は複雑な思い(怒り、傷つき、ひるみ)を抱きます。相手が向けてくる感情は、何らかの「サイン」です。このサインの意味を専門的に学ぶことは、何かと役立ちます。

「心の相談室」では「精神分析学」の視点から、理不尽な攻撃や不適切な感情を向けてくる「人々」の「心の状態」や「関わり方」を説明し「改善」に導く糸口をお伝えしています。

人間関係で困ったときは、ぜひ「心の相談室」にお越しください。

### 《会場案内》

川崎市総合福祉センター  
(エポックなかはら)  
6階 研修室  
JR南武線 武蔵中原駅徒歩1分

### 《問合せ先》

川崎市福祉人材バンク  
電話 : 044-739-8726  
メール : jinzai@csw-  
kawasaki.or.jp  
ホームページ  
<https://kawasakijinzaibank.jp>

インスタ  
始めま  
した！



# ゲートキーパー研修

ゲートキーパーとは、こころに不調を抱える人や自殺に傾く人のサインに気づき、声をかけ、話を聴いて必要な支援につなげ見守る人のことです。ひとりで問題を抱え込み思い詰めている人が増えています。この研修で、いのちを守るためにできることを一緒に考えてみませんか。

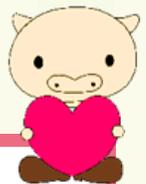
**【日時】11月6日(木) 13:00～16:30**

※定員25名（定員を超えた場合は抽選）

受講料

**無料**

【会場】川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）  
JR南武線 武蔵中原駅徒歩1分



★講師・研修内容

〈川崎いのちの電話 研修担当者〉

悩んでいる方への声のかけ方、話の聴き方など、具体的な関わり方をロールプレイやワークを通して学びます。

〈川崎市総合リハビリテーション推進センター職員〉

川崎市の字自殺対策の現状、取り組みをお伝えします。

申込二次元コード➡

申込締切 10月20日(月)10時まで



\* お申込み  
\* お問い合わせ

川崎市福祉人材バンク

TEL:044-739-8726

FAX:044-739-8740

<https://kawasaki-jinzaibank.jp>

## 【対 象】

川崎市内在住・在勤・在学の方

## 【お申込について】

※表面の二次元コード、またはホームページ内の申込フォームからお申込ください。

※申込時に受付完了のメールが届いているか必ずご確認ください。メールが届かない場合、受付ができていない可能性がありますのでご注意ください。

また、フォームからのお申込が難しい場合は別途ご連絡ください。

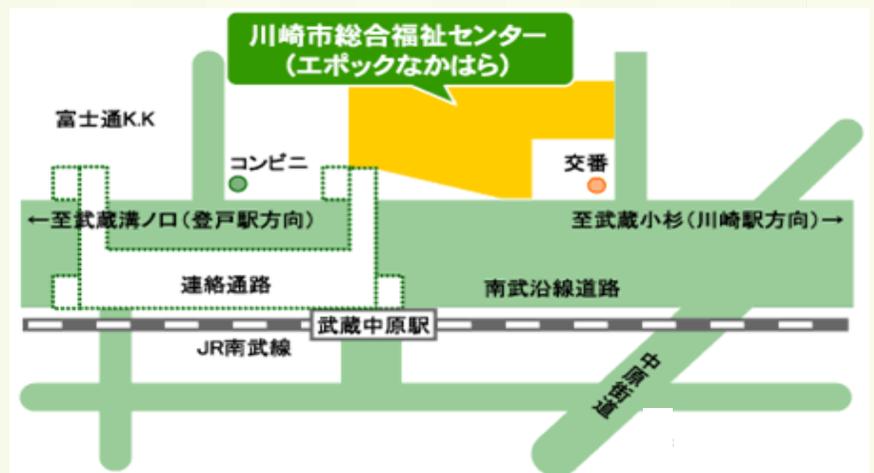
※締切後、抽選結果通知を申込時に入力していただいたメールアドレスに通知いたします。

(10月31日までに通知が届かない場合は、ご連絡ください)



## 【会 場】

川崎市総合福祉センター  
(エポックなかはら)  
JR南武線 武蔵中原駅徒歩1分



## 【お申込み・問合せ先】

(福) 川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンク

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5  
川崎市総合福祉センター(エポックなかはら) 5階  
jinzai-kensyu@cs-w-kawasaki.or.jp

TEL044-739-8726/FAX044-739-8740



山口達也さんによる

令和7年度地域課題研修

# アルコール依存症と共に生きる

～セカンドチャンスを目指して～

■昨年好評だった、山口達也さんに、アルコール依存症について、当事者にしかわからない視点でご講演いただきます。依存症当事者の方のお話を聞く貴重な機会です。是非ご参加ください。



講師

山口達也 氏

■定員:600名  
(定員を超えた場合は抽選)

■受講料:無料  
■対象:川崎市内在住か在勤・在学  
■申込み方法:フォームからの申込み  
(詳細は裏面をご覧ください)

■日時: 12月12日(金)13:30～15:30

申込締切り日:11月10日(月)10:00

■会場: 川崎市総合福祉センター(エポックなかはら) 3階 ホール

# 講師：山口達也（やまぐちたつや）氏



株式会社山口達也 代表取締役  
1972年1月生まれ  
2018年5月、旧ジャニーズ事務所退所。  
2022年「飲酒運転防止インストラクター資格」、  
「依存症予防教育アドバイザー資格」、  
「メンタル心理カウンセラー資格」を取得。  
2023年3月「株式会社山口達也」を開設し、  
自分の経験を活かした「ALCOHOL依存症」、  
「依存症全般」「50歳からの再チャレンジ」等の  
講演活動を実施又「企業向けの危機管理セミナー」  
も実施する

## ■申し込み方法



申し込み用二次元コード

左の二次元コードよりお申込みください。

※申し込み時に受付完了のメールが届いているか確認してください。  
※メールが届かない場合、受付ができていない可能性があります  
ので、ご注意ください。

上記からのお申込みが難しい場合はご連絡ください。

TEL:044-739-8726（受付時間：平日 8:30～17:00）

**※締切後、抽選結果をメールにて通知いたします。**

## ■会場

〒211-0053  
川崎市中原区上小田中6-22-5  
川崎市総合福祉センター3階 ホール



## ■問い合わせ先

〒211-0053  
川崎市中原区上小田中6-22-5  
川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）5階  
【TEL】044-739-8726／【FAX】044-739-8740  
【HP】<https://kawasaki-jinzaibank.jp>  
【MAIL】jinzai-kensyu@csw-kawasaki.or.jp



7 川社研第 1 1 6 号  
令和 7 年 1 0 月 1 5 日

川崎市内特別養護老人ホーム  
施設長 各位

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会  
川崎市総合研修センター所長 平川良一

テーマ別研修開催に伴う事前アンケートへのご協力について（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会の研修事業につきまして、ご理解、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

当センターでは令和 8 年 2 月に「外国人利用者支援・相談者対応時に役立つポイント」の研修開催を予定しています。開催にあたりまして、各施設で外国人の利用者や相談者への対応で苦慮したことや、分からなかったことなど、皆様のご意見を伺って、研修内容に反映したく準備を進めています。

つきましては、別紙アンケートを作成しましたので、ご多用のところ恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

（同封書類）

- ・事前アンケート
- ・福祉職員向けテーマ別研修「多文化理解を考える 外国人利用者支援・相談対応時に役立つポイント」ご案内チラシ

設問数 : 5 問 所要時間 約 1 0 分

回答期限 : 1 0 月 3 1 日 (金)

回答方法 : ①アンケート用紙を FAX

②アンケートフォームによる回答

アドレス : [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/enq\\_freelist.php](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/enq_freelist.php)



二次元コード

総合研修センター

〒210-0024 川崎市川崎区日進町 5 - 1

川崎市複合福祉センターふくふく 2 階

TEL 044(223)6509 ・ Fax 044(223)6598

## 令和7年度福祉職員向けテーマ別研修 事前アンケート

本会総合研修センターでは、福祉職員の資質向上を目的とした研修として、「多文化理解を考える」研修を企画しております。開催に当たり、現場のニーズに即した内容とするため、施設での外国人利用者支援や相談対応等で、ご苦労されている点などをお聞かせいただき、いただいたご意見を研修内容に活かしたいと講師の方から要望がありました。

つきましては、ご多用中とは存じますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

【アンケートフォーム】

二次元コード



アドレス：

[https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/enq\\_freelist.php](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/enq_freelist.php)

<b>1 事業所・勤務場所所在地</b>	
<input type="checkbox"/> 川崎区	<input type="checkbox"/> 幸区
<input type="checkbox"/> 多摩区	<input type="checkbox"/> 麻生区
<input type="checkbox"/> 中原区	<input type="checkbox"/> 高津区
<input type="checkbox"/> 宮前区	
<b>2 事業所・勤務場所の種別</b>	
<input type="checkbox"/> 地域包括支援センター	<input type="checkbox"/> 訪問介護
<input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム	<input type="checkbox"/> その他（ ）
<input type="checkbox"/> 居宅介護	
<b>3 外国人利用者を介護した、または、相談を受けた経験がありますか。</b>	
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
<b>4 3問目で「ある」と回答された方に伺います。</b>	
(1)	外国人利用者を介護した、または、相談を受けた際に、発言や行動への対応で苦慮したことがありますか。
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
内容)	
(2)	外国人利用者及び相談者に対応した中で、職員同士で共有したいエピソードがあればご記入ください。
内容)	
(3)	外国人利用者及び相談者への対応が分からないときに、どこに問い合わせをしていますか。 (複数回答可)
<input type="checkbox"/> 川崎市国際交流センター <input type="checkbox"/> かわさき多文化共生プラザ	
<input type="checkbox"/> 川崎市役所・区役所（高齢・障害課等） <input type="checkbox"/> 相談先を知らない	
<input type="checkbox"/> 分からない <input type="checkbox"/> その他（ ）	
<b>5 今後、ご自分の事業所・施設で外国人利用者を受け入れる、または、相談を受けることになった場合には、どのようなことが心配になりますか。</b>	
内容)	

多文化理解を考える

無料

# 外国人利用者支援・相談者対応時に役立つポイント

令和8年

2月18日

(水)

13:30～16:30

## 内容

- 1 福祉サービスを受ける上で困っていること
- 2 日本との文化の違い
- 3 日本人とのコミュニケーションの違い
- 4 福祉専門職に知っておいてもらいたいこと

## 講師

かわさき多文化共生プラザ相談員（フィリピン語） 神保 リリベス 氏  
川崎市多文化共生社会推進協議会委員 孔 敏淑（こん みんすく）氏

モデレーター 多文化高齢社会ネットかながわ（TKNK） 木村 有孝 氏

## 会場

川崎市総合研修センター 研修室  
（川崎市複合福祉センターふくふく2階）  
※ JR 川崎駅より徒歩15分

## 対象者

川崎市内在住・在勤で福祉施設・事業所にお勤めの方、支援者の方

## 定員

40名（先着順）

※先着順のため締切前に募集を終了する場合があります。

## 申込み

次のいずれかでお申し込みください。

- 1 下記URL又は右側の二次元コードから申込み  
[https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=158](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=158)
- 2 裏面の申込書に必要事項を記入の上、下記へFAX又は郵送にて申込み



申込締切 2月4日（水）

## お問合せ

（福）川崎市社会福祉協議会 川崎市総合研修センター

〒210-0024 川崎市川崎区日進町5-1 川崎市複合福祉センターふくふく2階

TEL:044-223-6509 FAX:044-223-6598 URL:<https://www.kensyu-c.jp/>

開所時間：火曜～土曜8：30～17：00（祝祭日 43年末年始を除く）



FAX 送信先	総合研修センター 研修担当 宛 申込締切 2月 4日 (水) まで	FAX: 044-223-6598
------------	--------------------------------------	-------------------

## 研修申込書

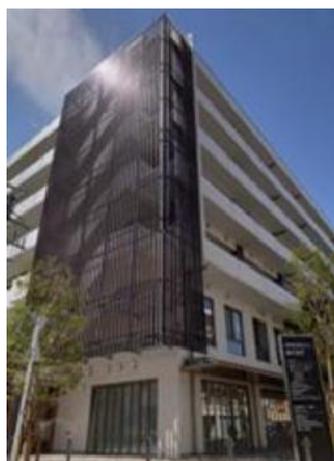
研修コード	<b>A48</b>	研修名	2/18 多文化理解を考える ～外国人利用者支援・相談者対応時に役立つポイント～		
所属種別	<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (1つだけ <input checked="" type="checkbox"/> をしてください)				
ふりがな					
氏名					年齢 (例: 50代) 代
勤務先名称					
通知文等 送付先	〒 ー			<input type="checkbox"/> 自宅・ <input type="checkbox"/> 勤務先 (どちらかに <input checked="" type="checkbox"/> )	
電話			FAX		
メールアドレス	@				
◆◆ 申込者情報 それぞれの項目について、複数該当の方は全てに <input checked="" type="checkbox"/> してください ◆◆					
勤務先の 種別	<input type="checkbox"/> 通所 <input type="checkbox"/> 入所 <input type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> 居宅介護支援 <input type="checkbox"/> 地域包括 <input type="checkbox"/> 看護・小規模多機能 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> 相談業務 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 無し				
職種	<input type="checkbox"/> 介護職 <input type="checkbox"/> 相談援助職 <input type="checkbox"/> 看護職 <input type="checkbox"/> 管理職 <input type="checkbox"/> 事務職 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 支援員 <input type="checkbox"/> 保育士 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
従事 経験年数	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1年～5年未満 <input type="checkbox"/> 5年～10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上 <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事前 アンケート	<p>1 どのようなことが知りたいですか。(心配なこと、確認したいこと、困っていること等) または、講師への質問等がありましたらご記入ください。</p> <p>2 どのような媒体で研修を知りましたか。  <input type="checkbox"/>総合研修センターホームページ <input type="checkbox"/>案内チラシ <input type="checkbox"/>川崎市からのメール配信  <input type="checkbox"/>所属からのすすめ <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>3 合理的配慮を希望する方は、具体的内容を箇条書きでご記入ください。          ※確認のご連絡、研修関係者での個人情報の共有について予めご了承ください。</p>				

個人情報の保護について：当研修の申込に関して事務局が知り得た住所・電話番号等の個人情報は、適切な研修事業の運営のために活用いたします。



# 令和7年10月配信 福祉職員向け研修のご案内

地域の明日をささえる  
福祉の研修



## 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 総合研修センター

〒210-0024

川崎市川崎区日進町5-1

川崎市複合福祉センター ふくふく2階

TEL : 044-223-6509 FAX : 044-223-6598

開所時間

火曜日～土曜日 9:00～17:00 (受付8:30～)

※日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始はお休みとなります

日	月	火	水	木	金	土
休	休	●	●	●	●	●

## 高齢者・障がい者のための “ネットトラブル”防衛術

日時: 令和7年10月21日(火) 14:00～16:00  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年10月14日(火)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=141](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=141)

講師 妻鹿 琢生氏  
武蔵小杉駅前法律事務所代表弁護士  
神奈川県弁護士会所属  
2009年 弁護士登録

研修番号 A43



お申込み

## 新入社員(Z世代)の特徴と働き方

～多様な価値観の理解から採用活動を考える～

日時: 令和7年10月23日(木) 13:30～16:30  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年9月25日(木)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=128](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=128)

講師 金子 愛美氏  
株式会社エイデル研究所  
出版・広報企画部

研修番号 A30



お申込み

## お悩み解決！排泄ケア

排尿トラブル、失禁や排尿困難を理解し正しくケア

日時: 令和7年10月28日(火) 13:30～16:30  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年9月30日(火)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=120](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=120)

講師 坂田 さち子氏  
皮膚・排泄ケア認定看護師  
日本褥瘡学会 在宅ケア推進協会評議員

研修番号 A17



お申込み

## 中堅職員・チームリーダー向け研修

組織でも、職場でも 頼れる職員になる！

日時: 令和7年10月29日(水) 9:30～16:40  
定員: 30名(先着順)  
締切: 令和7年10月7日(火)  
受講料: 1,210円 ※テキスト代として  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=145](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=145)

講師3名

広嶋 稔之氏  
特別養護老人ホーム  
みんなと暮らす町 施設長

山本 忠弘氏  
グループホーム青葉台 施設長

吉澤 美香氏  
地域相談支援センター  
あんさんぶる 管理者

研修番号 A36



お申込み

## 若年性認知症の理解原因疾患と支援の考え方

～それぞれの課題にあった支援～

日時: 令和7年10月30日(木) 14:00～16:00  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年10月2日(木)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=143](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=143)

講師 来島 みのり氏  
東京都多摩若年性認知症総合支援センター センター長  
高齢者福祉総合施設マザアス日野 副施設長  
全国若年性認知症家族支援者連絡協議会 理事

研修番号 A09



お申込み

## トラブル・報道相に役立つ介護記録の書き方 ～実践的な紛争予防・対応策～

研修番号 A31



お申込み

日時: 令和7年11月6日(水) 13:30 ~ 16:30  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年10月23日(木)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=124](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=124)

講師 伊藤 亜記氏  
株式会社 ねこの手 代表



## 介護福祉士国家試験直前対策講座

(ふりがな対応)

研修番号 KT1



お申込み

日時: 模擬試験(1日目) 令和7年11月8日(土) 10:00 ~ 15:10  
直前対策講座(2日目) 令和7年11月29日(土) 9:00 ~ 16:30  
定員: 28名(先着順)  
締切: 令和7年10月10日(金)  
受講料: 6,000円(税込) ※別途テキスト代2,200円(税込)  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=56](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=56)

講師 竹田 幸司氏  
田園調布学園大学 教授  
各種介護福祉士国試対策講座 講師



## 第4回川崎市認知症介護基礎研修

研修番号 NK4



お申込み

※ 令和6年度より、無資格で就労している介護職員は本研修の受講が義務化されました。

日時: 令和7年11月12日(水) 9:00 ~ 16:30  
定員: 30名(先着順)  
締切: 令和7年10月29日(水)  
受講料: 4,000円(税込)  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=148](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=148)

## 福祉職員に求められる看取り期のコミュニケーション ～本人・家族の支援～

研修番号 A26



お申込み

日時: 令和7年11月18日(火) 13:30 ~ 16:30  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年11月4日(火)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=147](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=147)

講師 小澤 竹俊氏  
一般社団法人エンド・オブ・ライフ・ケア協会 代表理事  
めぐみ在宅クリニック 院長



## 高齢知的障害者の支援 知的障害のある人の認知症 ～求められる視点と準備～

研修番号 A07



お申込み

日時: 令和7年11月21日(金) 13:30 ~ 16:30  
定員: 会場 40名 / ZOOM 20名 (どちらも先着順)  
締切: 令和7年10月31日(金)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=134](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=134)

当日は留学先の  
メルボルンから  
ZOOM講演します

講師 木下 大生氏  
武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授



## 第20期 川崎市

# 認知症介護実践リーダー研修



研修番号 NL1



お申込み

日 時: 令和 7年 11月 26日 ~ 令和 8年 1月 28日 (研修全6日間 + 実習4週間)  
定 員: 30名  
締 切: 令和 7年 10月 29日 (水)  
受講料: 20,000円(テキスト代別途)  
内 容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=96](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=96)

## 合理的配慮の提供義務化に伴う 改正障害者差別解消法のポイント

ポピーのストーリー 段ボール市民劇団による参加型演習

研修番号 A45



お申込み

日 時: 令和 7年 11月 27日 (木) 14:00 ~ 16:30  
定 員: 40名 (先着順)  
締 切: 令和 7年 10月 30日 (木)  
受講料: 無料  
内 容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=153](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=153)

講師 堀江まゆみ氏  
白梅学園大学 子ども学部 教授



## 施設に持ち込まない拡げないための 感染対策の基礎知識 ～市中感染・家庭内感染から考える～



研修番号 A33



お申込み

日 時: 令和 7年 12月 4日 (木) 13:30 ~ 16:30  
定 員: 40名 (先着順)  
締 切: 令和 7年 11月 20日 (木)  
受講料: 無料  
内 容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=115](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=115)

講師 小澤 賀子氏  
日本看護協会 看護研修学校  
認定看護師教育課程  
感染管理学科 専任教員

## 摂食嚥下障害 食支援の関わり方と拡げ方

講師 中川 量晴氏  
東京科学大学 准教授  
大学院医歯学総合研究科

研修番号 A16



お申込み

日 時: 令和 7年 12月 9日 (火) 13:30 ~ 16:30  
定 員: 40名 (先着順)  
締 切: 令和 7年 11月 25日 (火)  
受講料: 無料  
内 容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=144](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=144)



## やりがいと疲弊のバランスのととり方 ～ストレスの対処法、感情コントロールの法則～

研修番号 A27



お申込み

日 時: 令和 7年 12月 11日 (木) 13:30 ~ 16:30  
定 員: 40名 (先着順)  
締 切: 令和 7年 11月 14日 (金)  
受講料: 無料  
内 容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=155](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=155)

講師 森 麻紀氏  
日本産業力カウンセラー協会  
認定カウンセラー



# 高齢者施設での虐待リスクを 構造的に把握する視点

～発生予防のために～

日時: 令和8年 1月15日(木) 13:30～16:00  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年 12月18日(木)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=125](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=125)

講師 須田仁氏  
聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科  
准教授



研修番号 A24



お申込み

# 知っておきたい パーキンソン病の基礎知識

日時: 令和8年 1月17日(土) 13:30～16:30  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和7年 12月19日(金)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=142](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=142)

講師 北園久雄氏  
川崎市立川崎病院  
脳神経内科部長



研修番号 A13



お申込み

# より安全な入浴のための確認

～介助のポイント～

日時: 令和8年 1月20日(火) 13:30～16:30  
定員: 18名(先着順)  
締切: 令和7年 12月22日(月)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=135](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=135)

講師 阿保友和氏  
オーダーメイド介護サービス  
ケアビレッジ



研修番号 A18



お申込み

# 外出支援技術フォローアップ研修

日時: 令和8年 2月3日(火) 13:30～16:00  
定員: 40名(先着順)  
締切: 令和8年 1月12日(月)  
受講料: 無料  
内容: [https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu\\_detail.php?id=122](https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=122)

講師 小森晃氏  
筑波大学兼任講師

講師 小田恵氏  
視覚障害当事者



研修番号 A42



お申込み



出典:外国人にわかりやすい地図作成の取り組み (<https://www.ssi.go.jp/kihonijohochousa/kihonijohochousa40072.html>)に掲載されている地図記号を利用して当センターにて作成

## 【研修開催を中止または変更する場合について】

自然災害（地震、台風等）及び事故等が発生した場合や避難所開設等のため、研修を実施しない、または変更する場合があります。その場合には、開講当日の午前8時30分までに研修センターのホームページにその旨を掲載いたしますので、ご確認ください。

総合研修センターホームページ：<https://www.kensyu-c.jp/>